

## 博士課程教育リーディングプログラム 平成27年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
申請大学名	東京工業大学	申請大学長名	三島 良直
申請類型	複合領域型（生命健康）	プログラム責任者名	三原 久和
整理番号	C03	プログラムコーディネーター名	秋山 泰
プログラム名	情報生命博士教育院		

### <プログラム進捗状況概要>

#### 1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラム「情報生命博士教育院 ～ 情報科学を使いこなせる生命健康イノベーションリーダーの養成」では、東京工業大学の130年にわたる専門教育の伝統と、様々な研究科を持つことによる総合力を最大限に活かして、21世紀の社会を支える生命健康科学の分野でグローバルなイノベーションを牽引できるリーダー人材の養成を行う。特に、生命科学の一流の専門家でありながら最新の情報科学を道具として使える人材、または情報科学の一流の専門家でありながら生命科学の方法論と思考を理解する人材を養成する。本学位プログラムで養成する博士は、主専門分野の深い専門性に加えて、副専門に関する基盤的な知識と実際的な問題解決経験を有する“ $\Gamma$ （ガンマ）型”人材となり、優れたコミュニケーション能力により他分野の専門家と協力して、新たな複合分野を開拓する実行力を持つことを目指している。我々が目指す改革のゴールは、情報生命分野の小さな専攻やコースを一つ作るのではなく、本学の持つ生命系と情報系の教育を縦糸と横糸として臨機応変に組み合わせることのできる、柔軟な教育機構の構築である。

## 2. プログラムの進捗状況

- 学内規程の整備 平成23年12月7日付で「情報生命博士教育院」が学内組織として発足し、「東京工業大学情報生命博士教育院規則」が施行された。また、大学院学則に「東京工業大学情報生命博士教育課程規程」(平成24年4月1日施行)を定め、正式な教育課程として学位プログラムを開始した。平成27年度は、28年4月施行の本学の大規模な教育改革の準備として、「東京工業大学情報生命博士教育院規則」「東京工業大学情報生命博士教育課程規程」の一部改正を行った。
- カリキュラムの整備 平成27年度は、28年度からの教育改革に伴うカリキュラムの大幅な見直し(クォーター制やナンバリング制)に合わせて、当教育院履修対象科目の全面見直しを行った。
- 学生の選抜 平成27年度は4月に14名、10月に3名、選抜試験を経て10専攻から計17名の学生が新たに課程参加した。現在77名が在籍中である。
- 学生説明会・広報 平成27年度も学生説明会を4月と10月に開催した。これまでに、学内・国内に加えて、米国、マレーシア、タイ、ベトナム、韓国、中国、台湾等で学生募集説明会を開催し、入学者を得た。また広報では、本年度も年4回のニューズレター発行に加え、新聞・雑誌等のマスメディア上でのプログラム成果の広報に特に力を入れた。「週刊東洋経済」「東洋経済オンライン」「週刊ダイヤモンド」および「ダイヤモンド・オンライン」にてプログラム成果や学生の活躍を社会に向けて発信した。
- 特任教員雇用 前年度に特任助教1名が常勤教員として転出したため、平成27年4月にその後任として「グループ型問題解決演習第二」等を担当する特任助教1名を新たに雇用した。また前年度末で1名の異文化コミュニケーション科目担当教員が本国への帰国のため退職した。平成27年度は、特任教員12名と3名の異文化コミュニケーション科目担当教員により、事業を実施した。
- キャリア教育の充実 平成26年度より、新たな試みとして産業界若手メンター制度による対話型キャリア指導である「メンターとのタベ」を開始した。また、国際機関やグローバル企業で活躍する博士人材を講師として招聘した「グローバル・キャリアセミナー」の定期開催を開始した。平成27年度は産業界若手メンター制度による対話型キャリア指導として「メンターとのタベ」を2回開催。留学生対応として、このうち1回は英語開催とした。また国際機関やグローバル企業で活躍する博士人材を講師として招聘し、計12回の「グローバルキャリア・セミナー」を開催した。同じく留学生からの要望に応じて、1回は英語開催とした。キャリアパス指導担当教員によるインターンシップのコーディネートも実施した。
- 学修環境構築 当教育院独自の演習・授業を担保するため、すずかけ台キャンパスJ3新棟を中心に環境を整備済である。前年度までに拡充した遠隔講義システムを、授業や大岡山・すずかけ台両キャンパスの学生が企画に加わる夏の学校の遠隔打ち合わせなどに活用した。
- 奨励金 平成28年4月施行に向けて「東京工業大学情報生命博士教育院奨励金支給に関する申合せ」の一部改正を行った。平成27年度は51名に奨励金を支給。4月と10月に奨励金ワーキンググループにて審査後、運営委員会にて支給ランクを決定した。
- 国際夏の学校 平成24年9月3日～5日に湘南国際村で開催し、海外5ヶ国の大学院生を含めた52名の学生を中心に90名が参加。平成25年9月9日～13日にImperial College London (イギリス)で開催し、海外3ヶ国の大学院生を含めた54名の学生を中心に76名が参加。平成26年8月13日～19日にPurdue University (アメリカ)で開催し、海外2ヶ国の大学院生を含めた50名の学生を中心に66名が参加。平成27年度は、これらの実績や人的ネットワークを活かして、平成27年8月30日～9月6日にUniversity of Oxford (イギリス)にて「国際夏の学校2015」を開催。Oxford (UK) / ICL (UK) / Manchester (UK) / UCLA (USA) / Purdue (USA) / Strasbourg (France)の海外6大学からの大学院生11名と、当教育院の課程参加学生24名、海外招聘教員6名、当教育院教職員12名、合計53名が参加した。
- 国際シンポジウム 平成28年1月13日に“Multifaceted Approaches to Disease Intervention”をテーマにすずかけ台キャンパスにて「第4回生命理工国際シンポジウム」を開催。学内者380名、学外者14名、合計394名が参加した。